

公営企業の抜本的な改革の取組状況(令和6年3月31日時点)

団体名	業種名	事業名	施設名
十勝圏複合事務組合(普通会計分)	下水道事業	流域下水道	

実施状況

抜本的な改革の取組							現行の経営体制を継続
事業廃止	民営化・民間譲渡	地方独立行政法人への移行	広域化等	民間活用			
				指定管理者制度	包括的民間委託	PPP/PFI方式の活用	
							●

現行の経営体制・手法を継続する理由、今後の方向性

抜本的な改革に取り組まず、現行の経営体制・手法を継続する理由及び現在の経営状況・経営戦略等における中長期的な将来見通しを踏まえた、今後の経営改革の方向性

現行の経営体制・手法で、健全な事業運営が実施できている。また、北海道の事務委託として施設の維持管理をしており民間委託も進んでいること、経営は構成市町村の負担金・分担金により賄われており資金不足が考えられないこと、事務の共同処理を実施している組合組織の性質により、現行の経営体制・手法を変える必要性が低い。当組合が担っている流域下水道事業は、北海道が事業主体であり、関係市町からの負担金・分担金により維持管理を実施していることから、今後も関係市町と連携を図り、事業主体である北海道と協議をしながら計画的かつ合理的な維持管理に努めていく。